

ニトリ小牧店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

倉庫跡地に家具・インテリア雑貨店を新設する(法第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日	平成22年8月31日		
店舗	店舗名称	ニトリ小牧店	
	店舗所在地	小牧市下小針中島1丁目20番 外57筆	
設置者	名称	株式会社ニトリホールディングス	
	代表者	代表取締役 似鳥 昭雄	
	住所	北海道札幌市手稲区新発寒六条一丁目5番80号	
	備考	なし	
小売業者	名称	株式会社ニトリ	
	代表者	代表取締役 似鳥 昭雄	
	住所	北海道札幌市手稲区新発寒六条一丁目5番80号	
	備考	なし	
店舗面積	6,611 m ²		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	166 台
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	22 台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	108 m ²
	廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり
		容量	77 m ³
施設の運営	営業時間	開店	午前10時
		閉店	午後9時
	駐車場利用時間帯	午前9時30分から午後9時30分まで	
	駐車場出入口	数	3箇所
		位置	別紙図面のとおり
荷捌時間帯	午前6時から午後10時まで		
新設する日	平成23年5月1日		

3 参考事項

敷地面積	14,667 m ²		
建築面積	4,019 m ²		
延床面積	7,906 m ²		
業態	住・生活関連品専門店		
用途地域	工業地域	—	—
備考			

ニトリ小牧店

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	都市計画及び中心市街地活性化基本計画等について情報収集し、検討する
(2) 深夜営業の対応	深夜営業は行わない
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため不要
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施
(7) 通年の臨時措置	繁忙時、必要に応じて、交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積	日來客数 原単位 (人/千㎡)	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車 時間係数	必要駐車台数
153,599人	6,611 ㎡	950	14.40%	2,400 m	70.00%	2.00 人	1.11	350 台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	併設施設駐車台数	来客用駐車台数	評価
221 台	45 台	0 台	0 台	0 台	166 台	△

b 指針によらない「特別な事情」による算出

行政人口	店舗面積	日來客数 原単位 (人/千㎡)	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車 時間係数	必要駐車台数
153,599人	6,611 ㎡	393	14.70%	2,400 m	93.00%	2.00 人	0.82	146 台

※ 同規模の松山店、岡山店、広島IC店の実績値より算出した必要駐車台数を満足する。

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オペレーター:無	2平面自走オペレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	178 台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

敷地内 駐車場	種別	1	取容台数	166 台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	アイドリングストップ	
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	評価
東	2箇所	国道	40m	あり	39m	-	118	中央分離帯	左折のみ	なし	○
西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	1箇所	市町村道	9m	なし	34m	-	60	双方向	右左折混合	なし	○
北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通整理員等の配置	土曜日・日曜日・祝祭日・イベント・セール時のみ配備										

	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価	○	○	○	○	○

ニトリ小牧店

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交通飽和度等の検討)

(ア) 交通飽和度の検討

		休日			平日		
		現況	開店後	評価	現況	開店後	評価
交差点① 花塚橋南	飽和度	0.533	0.579	○	0.574	0.589	○
	将来交通量/可能交通容量	0.620	0.960	○	0.810	0.930	○
	ピーク時間帯	16時台			18時台		
		休日			平日		
交差点② 下小針中島①	飽和度	0.384	0.399	○	0.558	0.563	○
	将来交通量/可能交通容量	0.510	0.510	○	0.600	0.620	○
	ピーク時間帯	16時台			18時台		
		休日			平日		
交差点③ 下小針中島2	飽和度	0.381	0.401	○	0.495	0.503	○
	将来交通量/可能交通容量	0.510	0.500	○	0.550	0.570	○
	ピーク時間帯	16時台			18時台		

※周辺道路の混雑を回避するための対策等

出入口No.③に来客車両が集中しないよう、「下小針中島1」の東からの来客車両を右折させ、出入口No.②へ誘導する。

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗北東角付近に1箇所
駐輪場の収容台数	22台
標準収容台数	189台
収容台数根拠	既存店の実績による

位置評価	台数評価
○	○

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	なし	収容台数	—
位置及び箇所	—		

※ 来客用駐車場マスを利用するため、専用駐車場は確保しない。

位置評価	台数評価
○	○

キ 荷捌施設の整備等

(ア) 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	108㎡	あり	15分	2台	1台	○

(イ) 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
8:00~10:00	2台	18:00~19:00	21:00~22:00	単独テナント	なし	○

ク 経路の設定等

(ア) 車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置なし	チラシ配布	回避	非回避	回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
あり	あり	非配備

※非配備の場合等の対応

ドライバーに対する注意喚起の徹底

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
○

ニトリ小牧店

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価
○

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価
○

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

非難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結可能	

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
配慮あり	-	

評価
○

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	なし	なし	来客車両	なし	なし	-
西方向	なし	なし	室外機、台車走行音	なし	なし	-
南方向	なし	なし	室外機	なし	なし	-
北方向	なし	なし	室外機	なし	なし	-

遮音壁の影響	遮音壁設置なし
--------	---------

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	半地下構造とすることにより、上面・側面への騒音の漏れを防ぐ
荷捌作業運営面での配慮	アイドリングストップ
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	既存住宅に影響が少ない場所に設置
給排気口等からの騒音配慮	吹出し、吸込み口の形状検討、ダクトの吸音対策
駐車場からの騒音配慮	周辺道路との段差をなくす
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避
経年劣化等の事後対策	特になし

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	併設施設なし
運営面の騒音配慮	併設施設なし

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	27	冷却塔		給排気口	13	変電施設		浄化槽		ポンプ			
			冷凍機室外機		キュービクル	1	換気扇	10							
変動騒音	自動車走行	○	後進警報アザー	○	台車走行	○	BGM		アナウンス						
	ゴミ収集作業	○	アイドリング		シャッター	○									
衝撃騒音	荷降し音		台車走行												
建物の構造(高さ)		鉄骨造2階建(9.0m)													

ニトリ小牧店

(ア)等価騒音レベル予測

		西(A)	北(B)	北(C)	南(D)	東(E)
用途地域		工業地域	工業地域	工業地域	工業地域	工業地域
昼間基準値		60 dB	60 dB	60 dB	60 dB	60 dB
夜間基準値		50 dB	50 dB	50 dB	50 dB	50 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	47.0 dB	51.3 dB	57.7 dB	43.7 dB	50.7 dB
	評価	○	○	○	○	○
県	夜間等価騒音レベル	18.0 dB	35.3 dB	43.5 dB	18.6 dB	10db以下
	評価	○	○	○	○	○
昼間等価騒音レベル検証		妥当	妥当	妥当	妥当	妥当
夜間等価騒音レベル検証		妥当	妥当	妥当	妥当	妥当

※基準値を超えた場合の対応等

--

(イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工業地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無							無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か							
上記A・Bの具体的内容							
		西(a)	北(b)	北(c)	南(d)	南(e)	
用途地域		工業地域	工業地域	工業地域	工業地域	工業地域	
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし	なし	
基準値		60dB	60dB	60dB	60dB	60dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	18.0 dB	35.5dB	46.3dB	20.5 dB	19.7dB	
	評価	○	○	○	○	○	
設置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	-	-	-	-	-	
	評価	-	-	-	-	-	
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当	妥当	
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	-	-	-	-	-	

※基準値を超えた場合の対応等

--

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	特になし
衛生問題関係配慮	特になし

(ア)小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	34.06 m ³	1日	1.255 t	0.10 t/m ³	12.55 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用	1.20 m ³	1日	0.044 t	0.10 t/m ³	0.44 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用	1.00 m ³	1日	0.037 t	0.10 t/m ³	0.37 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用	33.11 m ³	1日	0.122 t	0.01 t/m ³	12.20 m ³	変更なし	○
生ごみ用	5.08 m ³	1日	1.026 t	0.55 t/m ³	1.87 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用	2.55 m ³	1日	0.357 t	0.38 t/m ³	0.94 m ³	変更なし	○
合計	77.00 m ³	-	-	-	28.37 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	既存の実績に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

b その他の廃棄物等

該当なし

(イ)小売店舗以外の施設の必要保管容量

a 飲食店の廃棄物等

該当なし

b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

該当なし

ニトリ小牧店

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	なし
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施		分別廃棄を実施	
	搬出作業の利便性の確保		特になし	
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保		夜間及び早朝作業は控える	
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施		生ゴミ排出なし	
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保		生ゴミ排出なし	

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	(未定)
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	食品加工施設なし
併設施設からの悪臭防止対策	併設施設なし

評価	○
----	---

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	店舗概観は周辺景観との調和に配慮致します。
市町村等の公的計画への協力	特になし
照明等の配慮	駐車場および歩行者の安全へ配慮するとともに、敷地外への光の拡散を抑えます
敷地内の緑地計画	店舗前面に集中配備します。

評価	○
----	---

出店地連絡会議の意見概要	対応
1 来退店経路の周知及び出入口における車両の誘導等(特に店舗東側からの来客車両及び店舗北側への退店車両の誘導)について再度検討すること 2 駐車場の防犯カメラの設置等防犯対策について再度検討すること 3 車いす使用者用駐車施設の位置を店舗前面への変更を検討すること	1 チラシによる来退店経路の周知、オープン時等の交通誘導員の配置の他に、駐車場内での退店経路案内看板の設置及び店舗東側からの来客車両への来店経路の野立て看板の設置をする。 2 夜間営業はしない、駐車場に死角がないこと等により防犯カメラの設置はしないが、従業員による巡回の徹底を図る。 3 車いす使用者用駐車施設の位置を店舗前面へ変更する。

市町村の意見概要	対応
意見なし	

住民等の意見の概要	対応
意見なし	

県の意見案
意見なし

県の意見に至る考え方
出店地連絡会議での意見に対する設置者の対応は概ね妥当なものと考えられるため。